

【活動日記】

グループ

高橋弘美 記

活動日時：平成27年3月22日	13時～15時30分	天気：晴れ
活動場所：根戸城址		
活動内容：分封捕獲に完全準備		
参加者数：12名	活動区分：養蜂部会	

活動概要

本日は、分蜂時期を見据えて、巣箱の設置作業を行った。

巣箱は昨年12月に、男性陣が作成して下さっていたもので、日暮会場だけでも9箱あった。その新しい巣箱にミツバチが入りやすいように・・・

- ①蜜蝋を溶かして、新しい巣箱の入り口と天井の板に刷毛でぬっていった。
- ②巣箱の枠が（巣箱はお重箱のように木枠を4～5段重ねたような構造なので）ずれないように、枠と枠とを一段一段、強力粘着テープで止めていった。
- ③支柱となる細長い板の先を、電動のこぎりで先を尖らせるようにカットして、その部分を地中に刺し、上の部分をビスで巣箱に留めつけて巣箱を固定した。

※作業終了近く・・・作業に時間が掛かり、部員の皆さんが疲れはじめた頃・・・部員思いの谷ロリーダーが差し入れて下さった「切り餅」と「ゆであずき」を使って、女性部員の永野さんと中野さんが、とってもおいしい「お汁粉」を作して下さいました。

おいしく、ほっこりとして疲れを忘れました！本当にありがとうございました！！



(説明： なんや！不器用な巣箱の組み立ては)



(説明： 少しはようになった感じやな)



(説明： 九州女が見本や 道具はこう使うんや)



(説明： ヤツケタ後の貧食の一服は最高やで)